

ます。

申込締切 11 月末日
世話人 野本憲一, 松田卓也, 梅村雅之
観山正見

問い合わせ先

国立天文台理論天文学研究所
〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
梅村雅之
TEL. 0422-41-3752 FAX. 0422-41-3746

●●●●●●●●●●
書 評
●●●●●●●●●●

「双眼鏡で星空ウォッチング」

村山定男 監修・白尾元理 著

(丸善 2060 円)

星空の観望ガイドと銘打った本は数多く出版されてきたが、それはいままでも「星座」紹介を中心にした肉眼用のものと、星雲・星団を対象にした望遠鏡用のものとの大別される。実は、どちらのものも中をよく読む

と、気ままで手軽な星空観望には双眼鏡が適していると書いてあるし、天文雑誌などでも同様の趣旨が宣伝されているのだが、正面切って「双眼鏡のための」星空観望ガイドが本になったことは無かった。

本書は、双眼鏡を使って観望を楽しむ天体(月, 惑星, 星雲, 星団など)について、探し方を示した星図と天体写真を併用して解説したものである。標準的な双眼鏡の視野である7度の円を、それぞれの星図や写真に書き入れ、初心者でも天体を見つけやすいように工夫がされている。そして、なによりすべての天体について、美しいカラー写真が掲載されているのが魅力で、写真集としても楽しめる。著者は、アマチュアながら惑星地質学を独自に研究されている方で、天体についての解説も簡潔にして明快である。ただ、星雲などは専門外のためか、「惑星状星雲は、超新星が爆発した残骸と考えられる」といった明らかに誤った記述が散見されるのは残念で、改版時にぜひ訂正していただきたい。昨今のアウトドアブームで、双眼鏡の売れ行きは良いらしいが、本書はそういったアウトドア派には、もってこいの星空案内書といえるだろう。カラー写真が多いぶん、小型の本にしては値段が高いが、会員の方で双眼鏡をお持ちの方にもおすすめしたい本である。(渡部潤一)

◇ 11 月の天文暦 ◇

日	時	分	記	事
2	0	15	金星	外合
3	6	48	望	
4	8	08	月	最近
5	16	02	木星	西矩
9	22	02	下弦	
10	18	04	冥王星	合
17	18	05	朔	
19	11	56	月	最遠
20	12	58	火星	地球最近
25	22	12	上弦	
28	5	33	火星	衝
30	21	57	木星	留

1990 年 8 月の太陽黒点 (g, f) (国立天文台)

1	17,	165	11	16,	123	21	21,	265
2	19,	202	12	14,	76	22	17,	256
3	13,	121	13	20,	180	23	15,	210
4	16,	108	14	19,	281	24	19,	280
5	10,	66	15	21,	276	25	14,	222
6	11,	129	16	18,	349	26	14,	184
7	12,	129	17	20,	322	27	11,	211
8	14,	178	18	20,	171	28	12,	196
9	—,	—	19	19,	194	29	13,	196
10	—,	—	20	19,	258	30	17,	206
(相対数月平均値: 214.10)						31	15,	134

◇ 11 月の日月惑星運行図 ◇

